

福岡県でランピースキン病発生！ (国内初発生)

【農場概要】 乳用牛飼養農場

【確認された日】 11月6日

- 本病は、死亡率は高くなく、自然治癒します
- 本病は牛の病気であり、人に感染することはありません。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

◎「ランピースキン病」(届出伝染病)とは

- 牛、水牛が感染するウイルス性疾患で、皮膚の結節、水腫、発熱、流涎、泌乳量の低下などの症状を示します。
- 2019年以降、アジアで発生が拡大し、韓国では、2023年、1ヶ月以内に全土に拡大。今年8月にも発生。

◎ 発生予防・侵入防止

- 吸血昆虫(蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニなど)駆除として、殺虫剤の散布や、粘着シートを活用。
- やむを得ず、飼養器具等を持ち込む場合は洗浄、消毒(エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石鹼など)。
- 早期発見・早期通報・毎日の健康観察。

◎ 本病に対する防疫対策の基本的な考え方

(2024年1月防疫対策要領を策定)

- 被害を最小限にすることを目的に、発症牛の早期発見、隔離、移動の自粛または淘汰、ワクチン接種など速やかに、これらの対策を行います。

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。